

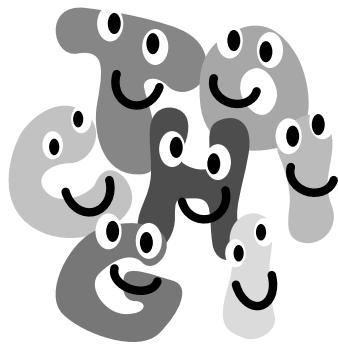
質問(益子岩夫議員)各中学校跡地の有効的な活用についてどのようにお考えのか伺います。

答弁(市長)黒羽統合中学校が平成二十二年四月に開校いたしましたと、その時点で四中学校が閉校となります。この四つの中学校の跡地利用については、旧黒羽町における小中学校環境整備基本計画の中で八小学校を四小学校に統合し、各地区の中学校を小学校としての基準に改修、改造を行う

ということです。施設の有効活用を図ることが適切であるとして、学校の適正配置、適正規模の推進を図つてきた経過がありました。今後は、これらの経験を踏まえながら教育施設として利用するかどうかを検討することになります。

法による規格の違いがあることや、文部科学省の学校施設整備指針においても中学生と小学生の

統合後の黒羽地区現中学校の利用について



とちぎ未来クラブ

とちぎ未来クラブシンボルマーク

質問(高崎和夫議員)出会い事業の取り組みについて市としては現在どのように企画をし、実行しようとしているか伺います。

答弁(市長)昨年度栃木県が中心となつて県内三十一市町及び各種団体から構成される「とちぎ未来クラブ」が設立されました。これは県民総ぐるみで結婚子育てを支援しようとするもので、事業の一つとして結婚支援事業を実施しております。具体的には、出

会いの場を設け、数多くの未婚者に結婚のきっかけとなる出会いを提供するものであります。本市においては、結婚を支援するための手立てとして出会いの場を提供することは少子化対策の一つとしても有効であると考えております。従いまして、とちぎ未来クラブを中心とした事業に協調して結婚支援に取り組んでいく考えであります。とちぎ未来クラブの出会い事業は応募

者が大変多く、高い倍率の抽選に当たらないと参加できない状況にあることなどを踏まえ、市独自の事業実施を行うこととして、本年度百二十六万八千円を予算化したところであります。現在出会い事業実施に向けて準備を進めております。この事業内容は、結婚したいが、すてきな相手にめぐり会わない、異性と知り合う機会が少ないという未婚の男女に出会いの場を提供することを趣旨として、十月四日、ふれあいの丘において開催することとしております。募集人数につきましては、男女各二十名を考えております。



より良い跡地利用が望まれる
(須賀川中学校)